



虫歯のばい菌は、どうして歯をとかすの

歯がとけるのは、虫歯のばい菌がつくる酸のせい

歯の表面は、エナメル質という、体の中でも最もかたい物でできています。

虫歯の原因については、口の中にあるばい菌が、歯に残っている食べ物の中の成分をく
 さらせ、それによってできた酸が、エナメル質をとかすためだと、考えられています。

あまい物は虫歯の菌の大好物

虫歯の原因になるばい菌は、糖分が大好物
 です。つまり、あまい物が大好きなのです。
 あまい物を食べて、その後、歯みがきをしな
 いでいたりすると、歯のばい菌は、歯につ
 いた残りかすをどんどんくさらせ、酸をつくり
 出してエナメル質をとかしてしまうのです。

そうすると、エナメル質に穴があき、その
 下のぞうげ質や、中に血管や知覚神経が入っ
 ている、「歯ずい」がしげきされて、激しい
 痛みを感じることになるのです。

あまい物を食べるというのは、虫歯のばい
 菌に、えさをやっているのと同じです。です
 から、食後には、きちんと、歯をみがかなけ
 らばいけないのです。（監修・保志 宏）

